

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 やまなみ会
グループホームくんわ

目 次

1	はじめに	・・・	1
2	利用者状況	・・・	1
3	支援内容	・・・	2～3
4	緊急時対応	・・・	3
5	防災関係	・・・	3
6	職員状況・会議	・・・	3
7	年間活動報告	・・・	4
6	課題・次年度への提起	・・・	5

はじめに

コロナ禍の中、感染状況を見極めながら、外出・外泊等の行動制限緩和や利用者にストレスが溜まらない様、メンタル面でのサポートを行い、外出支援やグラウンドを利用し、GH全体でのミニスポーツ大会を行い利用者の満足が得られた。本年度は現世話人（委託）を直接雇用に変更し、直接指示する事でより良い利用者へのサービスや支援の向上が図れた。

継続的にGH内・公用車等の消毒や換気を行い又大衆場や外出時のマスク着用の徹底を声掛け説明しコロナ感染予防を行ってきた。

1. 利用状況

- ・定員数 55名
- ・現員数 54名 ・知的障がい 46名 ・精神障がい 8名

GH名称	定員	現員	男性	女性	療育状況						平均年齢
					B2	B1	A2	A1	精神	身体3	
くんわホーム	9	9	9		2	4	2		1		53歳
治誠寮	5	5	2	3		4				1	54歳
第二治誠寮	7	7	7		2	3	1		1		60歳
かがやきハイツ	9	9		9		4	4		1		56歳
ひだまり	7	7	5	2	2	2	1		2		46歳
コープ赤水	9	8	8		4	1	3				55歳
くろかわ	9	9	6	3	3	1	3		2		44歳
平均	60	54	35	17	13	19	14	0	7	1	52歳

2. 利用者経済状況

障害年金	障害年金＋生保	生保のみ	預貯金(工賃のみ)	計
51名	3名	2名	1名	54

3. 新規利用者及び退去者の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規											1	1	2
退所												1	1

新規利用者は在宅から1名、病院より1名であった。退所者は、ADLの低下等に於いて本人のサービス内容の変更者1名（阿蘇くんわの里入所）。

本人のニーズを聴きながら、日中事業所・相談事業所・各市町村行政機関等と検討会議及び病院にて退院に向けてのカンファレンス等を行い本人のニーズに沿った個別援計画を立て支援を行った。

4. 支援内容

1) 利用者支援強化

①新型コロナウイルス感染予防対策

感染状況等確認・見極めながら外泊や外出の対応及び保護者との連絡調整等を行った。職員・利用者の朝夕の検温と健康チェックを継続的に行ってきた。

GH内・公用車等の消毒や外出時のマスク着用の徹底と三密を避けた行動・外出の呼びかけや説明を行った。

②コロナ禍でのメンタルケア

感染予防の為外出・行事・イベント等少なくなった為、話を聴く体制で利用者とコミュニケーションを図ってきた。

③各事業所・関係機関との連携

モニタリングに於いてはコロナ禍の為、ズームにて行い、カンファレンスや各担当者会議に於いては感染状況を見極めながら緩和期に行ってきた。

④スタッフ世話人の確保

全世話人が派遣（委託）より同法人直接雇用とし、代替え世話人確保が長期に渡り、派遣会社側で出来なかった為、GH職員でスムーズに対応出来る様になった。

2) 健康管理

新型コロナウイルス感染予防を継続的に行い、毎日の検温・消毒等を行った。又必要に応じ外泊・外出後の抗原検査を行い、安全の確認を行った。

健康維持に於いても、定期受診の外に胸部、腹部レントゲン及び胃カメラ・大腸検査等定期的に行っている。毎年の健康診断（住民健診）の呼びかけ参加と住所地特例で基本健診が受けられない方は協力医での検診を促している。

3) 金銭管理

利用者個々の状況（煙草、携帯使用料、買い物等による過剰な使い過ぎ）を把握し収入と支出との兼ね合いについて説明・助言を行い、払い出し額を一緒に確認してきた。

4) 食事の提供

季節感と家庭的なメニューを取り入れ、手作りで365日の食事提供を行ってきた。（外食又外泊時には事前に申し出て食事が止めれる体制をとった）

利用者へ嗜好調査等行い、行事食や外食、誕生会等のメニューに取り入れてきた。

5) 家族との連携

外泊・外出時に於いては、新型コロナウイルスの感染状況等見極めながら、家族と連絡を取り帰省時の対応を行った。

病院受診時や入院時等には、治療方針等、医療機関からの情報提供及び家族と同伴しDrの説明に立ち合い連携を図り支援に当たった。

6) 日常生活上の支援

洗濯・掃除が苦手で不十分な方については、世話人さんが一緒に行い、起床時や歯磨き等の声掛け又季節に合った衣類や寝具の調整等支援してきた。入浴されない方への促し声掛け等、身だしなみや清潔保持等についての助言等も行ってきた。

7) 買い物・外出支援

地域生活する中で、交通機関等の利用が出来ない方や、買い物・外出時の介助を要する方に於いては引率・同行支援を行ってきた。又交通機関等の利用出来る様、時刻表や計画予定を組み、数名で行ける様支援を行った。

8) 余暇活動の支援

コロナ禍での状況を踏まえ、又感染状況等見ながら、イベント等行ってきた。休日に於いては、出来るだけ居室に籠らず、適度な運動が取り入れられる様、散歩や歩け歩け等声掛け促しを行ってきた。又一緒に外食をしたり、菜園を楽しんだり、山菜取り等行い余暇時間が充実出来る様支援を行った。

5. 緊急時対応

各 GH24 時間セキュリティーにて又夜間時に於いては、バックアップ施設・くんわの里夜勤者からの連絡を受け緊急時や体調不良者等の早期対応に当たった。

入院者については、24 時間いつでも医療機関や家族と連絡が取れる様、夜勤者等の申し送りをを行い速やかに対応した。

6. 防災対策

災害における避難訓練を 11 月・3 月に実施し、利用者・職員に消火器を使用しての実践訓練等行い防災についての危機感や防災意識を高めた。又避難経路や非常連絡網の再確認等行い、安全確保に努めた。各 GH の消防設備の点検を行った。本年度は 4 件の GH がスプリンクラー凍結の為故障となり早急業者へ依頼し整備を行った。

非常食・衛生品等の備蓄に於いては、バックアップ施設のくんわの里にて常時、補充を行い、非常時 3 日分 (55 名) に対応できる様備えてきた。

7. 職員・スタッフ会議等について

コロナ禍にある為、主にリモートでの研修ではあったが、後見人制度についてや意思決定についての支援・地域生活についての研修を行ってきた。又毎月 1 回は必ず全スタッフでの会議を行い、虐待防止についてなど利用者への相談業務等について周知徹底を図ってきた。

イベント行事等については、コロナ禍であるため、利用者の希望が多か

った全体での旅行は行けなかったが、コロナ感染状況等見ながら、規模を小さくし外出支援や敬老や、GH 全体でグラウンドを利用しミニスポーツ大会等を行い、利用者の満足を得た。

8. 年間行事活動報告

	GH 利用者対象	地域活動・防災・検診等	スタッフ研修等
4 月		消防点検	GH スタッフ会議 職員会議
5 月		健康診断	GH スタッフ会議 職員会議 担当者会議
6 月			GH スタッフ会議 職員会議 担当者会議
7 / 6		コロナワクチン 4 回目接種	GH スタッフ会議 職員会議 給食運営会議
8 月			GH スタッフ会議 職員会議 ケース検討会議
9 / 23	敬老の日イベント : あそ望の郷くぎの・ 阿蘇山上にてランチ (16 名参加者)		GH スタッフ会議 職員会議 担当者会議 (ハンズオン熊本)
10 / 9	ミニスポーツ大会 (54 名参加)	花苗植え 消防点検	GH スタッフ会議 職員会議
11 月		インフルエンザ予防接種 避難訓練 住民健診	GH スタッフ会議 職員会議 意思決定研修
12 月	年越し (ローストビーフ) 年越しそば・魚)		GH スタッフ会議 成年後見人制度
1 月	正月 (お節料理・お雑煮)		GH スタッフ会議 職員会議 給食運営会議
2 月	焼きいも	コロナワクチン 5 回目接種	GH スタッフ会議 担当者会議 地域生活研修 (13・14 日)
3 / 21	外出支援: 天草 (13 名参加)	避難訓練 花苗植え	GH スタッフ会議 職員会議

9. 課題・次年度への提起

コロナ規制が終了したが、まだ感染が終息したとは言えない。加えてインフルエンザ感染の報告が出されている。この状況を踏まえながら感染予防を周知徹底し、外出、外泊及び行事を行っていく。また居室等の衛生面を指導していく。

物価高騰に対しては、利用者個人の意識を高め経費削減に努力してもらい、個々の楽しみを広げていけるよう支援していく。

利用者の高齢化、重度化及びがんなどの疾病発病等によりグループホームでの生活が厳しくなっている方々がいるので、日々の生活、病院受診などできる限り支援し、生活機能の存続を行っていく。